

# つながり

## 特集 チームで脳梗塞から命を救う



### 目次

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 特集 チームで脳梗塞から命を救う .....    | 1p-4p |
| 病院広報誌アンケート調査ご協力をお願い ..... | 4p-5p |
| 臨床工学技士の血管内治療への関わり .....   | 5p    |
| ドクターヘリについて .....          | 6p    |
| 地域の医療機関のご紹介 .....         | 7p    |

ご自由にお取り  
ください

# 特集 チームで脳梗塞から命を救う

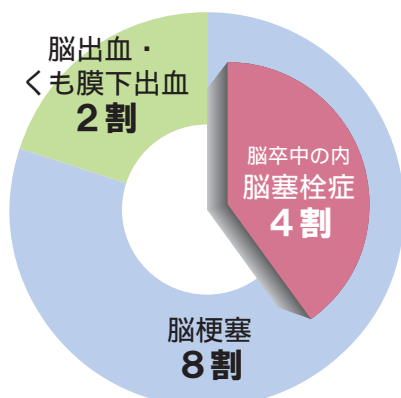


## 脳梗塞は脳卒中のひとつ

脳卒中は、中国語で「カミナリが当たる」を意味する「卒中」が語源と言われており、「脳にカミナリが落ちた」ように、元氣だった人がある日突然発症する病氣として古くから恐れられてきたもののひとつです。脳卒中には、頭の血管が破れるもの（脳出血、くも膜下出血）と頭の血管が詰まるもの（脳梗塞）があります。以前は脳卒中というと脳出血やくも膜下出血のケースが多かったのですが、高血圧の治療が進みその数は減少し、現在は脳梗塞の割合が年々増えている状況です。脳卒中全体の約40%を占めるのが脳梗塞のひとつである「脳塞栓症<sup>のうそくせんしょう</sup>」です。（左グラフ）これは脳以外でできた血のかたまり（血栓）が脳の血管を詰まらせることが原因です。心房細動などによる心臓の不整脈が原因で心臓に血栓ができ、それが脳の血管に届き詰まる場合が一番多く、死に至る危険性が高いケースとなります。

副院長兼脳神経外科科長 吉田 昌弘

〈宮城県の脳卒中の割合〉



出典：宮城県第7次医療計画

〈脳卒中の代表的な症状〉



## 脳梗塞の症状

血管が詰まった瞬間に症状が出るため、元氣な人でもある日突然発症することがあります。

症状はどの血管に血栓が詰まるかにより異なりますが、代表的な症状は「元氣だった人が突然倒れた」「片方の手足が動かない」「言葉が話せない・理解できない」「左右のどちらか片方しか見ようとしない（空間無視）」です。

## 脳梗塞の治療方法

脳細胞は、血管が詰まったまま時間が経てば経つほど傷つき、元には戻らなくなります。脳梗塞は、一刻も早く血栓を取り除くことが重要です。

そこで登場するのが、血栓を溶かす薬（t-P.A）を用いたt-P.A療法（静注血栓溶解療法）です。これは、発症から4.5時間以内に治療可能な方に行うもので、血栓を溶かす薬を投与することでつまった血栓を溶かして血流を再開させる治療法です。

この薬が適応できない方や大きな血栓で溶けきらない場合などは、血栓回収治療法を行います。これは、脳の血管にカテーテルと呼ばれる細い管を入れ、詰まった血栓そのものを取り去る方法で、平成26年に保険適応になり、ここ5年ほどで急速に普及している治療法です。この血管内の治療を緊急に行える医療施設は、宮城県内には5施設しかなく、宮城県北では当院のみが対応できます。

### 〈血栓回収治療法の様子〉

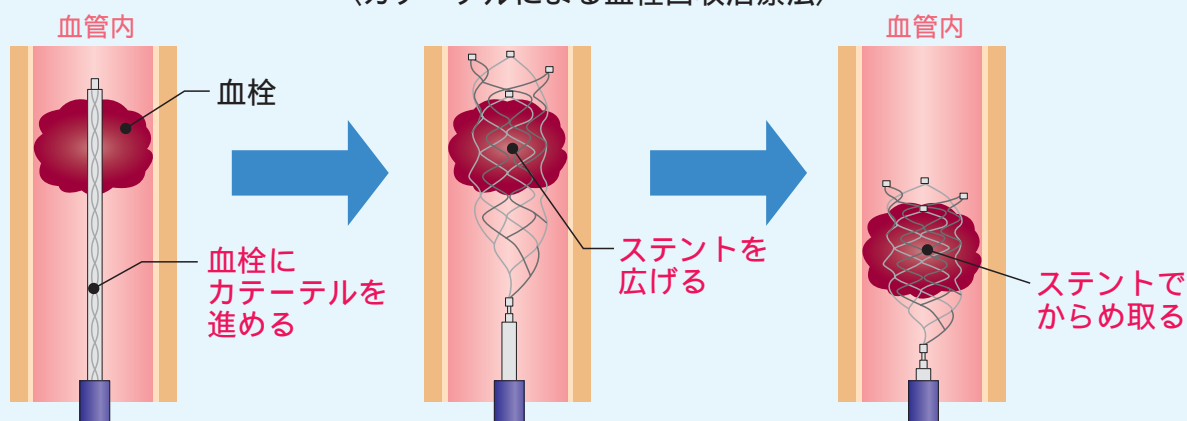


カテーテル治療は複数の医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士などが連携して行います。

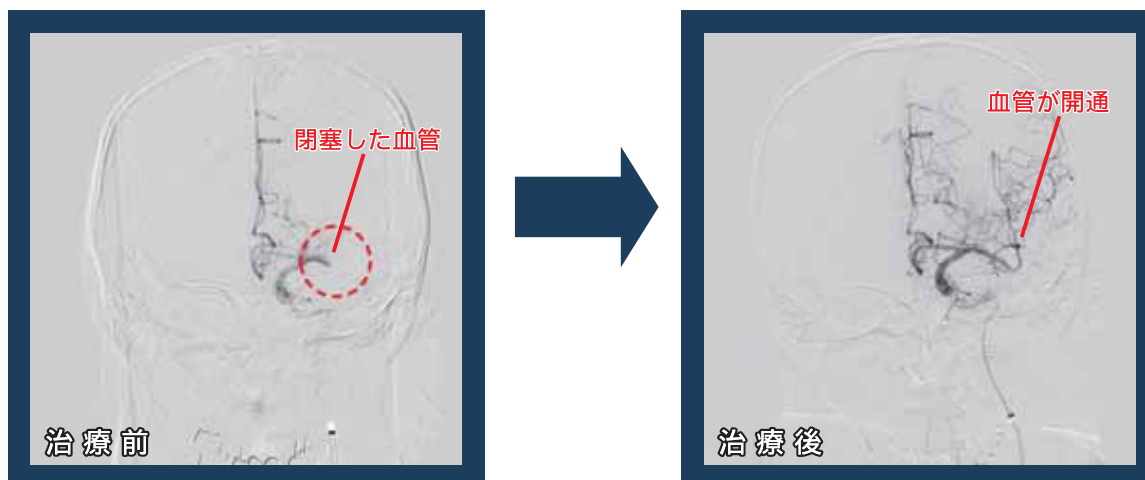


カテーテル治療室で足のつけねからカテーテルを入れ、脳の血管まで到達させます。

### 〈カテーテルによる血栓回収治療法〉



### 〈カテーテル治療前と治療後の脳血管の血流の様子〉



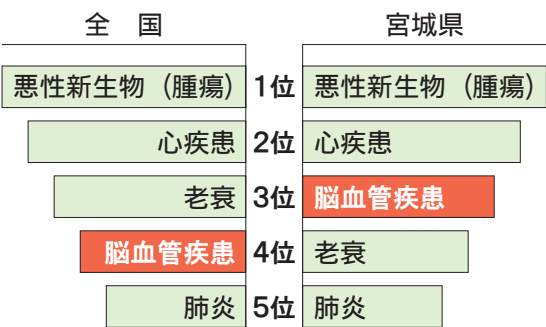


## 脳卒中法整備化

### 脳卒中中医の夢

脳梗塞を主とした脳卒中は、宮城県内の死因の第3位であり、第5位の肺炎（特に誤嚥性肺炎<sup>ごえんせいはいえん</sup>）の原因にもなり得る病気です。死因や介護を要する状態となる原因の主要なものとなっていることから、国では「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」という法律を今年12月1日に施行しました。これにより脳卒中の予防に向けた体制整備が進みました。

### 〈全国・宮城県における死因トップ5〉

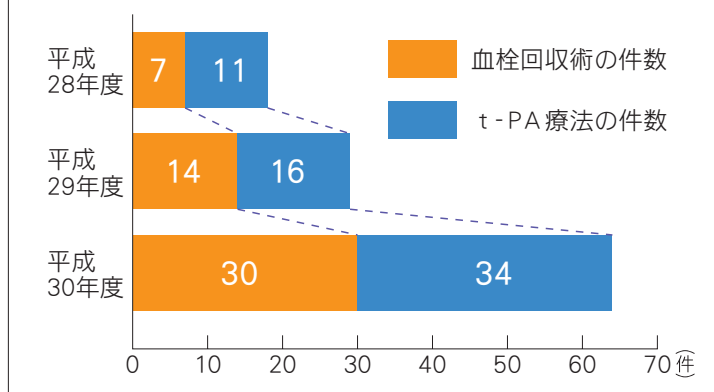


出典：厚生労働省 平成30年人口動態調査

## 当院での取り組み

当院では、20年程前からカテーテル治療を行っており、いつ発症するか分からないこの病気に対応するために、365日24時間脳神経外科医が対応することのできる体制を整えてきました。前述のt-PA療法も血栓回収療法も、どちらも実施しており、表（左）のような診療実績があります。これは宮城県内における血栓回収療法の

### 〈当院の診療実績〉



実施件数を人口比率で見るとトップクラスの診療実績です。

前述のとおり、脳梗塞の治療は一刻も早く血栓を取り除くことが重要です。早期発見・早期治療が必要です。

重要なのは、①で  
きるだけ早く治療の  
できる病院で治療を  
開始すること、そして  
病院では、②治療  
技術の向上・手術機  
器の進化への対応、  
③治療後のリハビリ  
テーションと再発防止の薬物療法  
です。

当院では、脳梗塞の疑いのある患者さんが搬送された場合、医師や看護師だけでなく、放射線技師や臨床工学技士などの多職種が連携してすぐに治療を開始できるように体制を整えています。また、脳卒中を治療する医師の技術の向



理学療法士（左）・言語聴覚士（中）・作業療法士（右）が治療後のリハビリに対応しています

上はもちろん、手術に使用する医療機器の進化にも対応をしています。そして治療後のリハビリテーションとしては、「脳血管疾患等リハビリテーション」を行える施設として、治療後すぐからのリハビリに対応しています。このように多職種がワンチームになって、治療にあたっています。

## 症状があれば迷わず救急車を！

薬や医療機器が発達し、病院がいくら治療体制を整えても、早期治療のための時間短縮の課題は解決できません。みんながこの病気を知り、「発症したら救急車を！」ということが浸透すると、助かる確率は改善されます。

脳塞栓症について言えば、1ページでも紹介した「元氣だった人が突然倒れた」「片方の手

足が動かない」「言葉が話せない・理解できない」「左右のどちらか片方しか見ようとしないう」という情報があれば、疑いは濃厚です。「脳卒中の診断は電話でもできる」という言葉があります。当院では、この情報があれば救急車の到着前に手術の準備をして待っています。**迷わず救急車（119番）**を呼びましょう！



作業療法士(上)・理学療法士(下)によるリハビリの様子



## 病院広報誌「つながり」アンケート調査ご協力のお願い

当院では、病院の医療機能や役割、取り組み等をご理解いただくため、広報誌「つながり」と「市民病院だより」を発行しています。より読みやすく、わかりやすい紙面づくりの参考にさせていただくため、アンケートを実施していますのでご協力をお願いいたします。

左記アンケートはがきに記入の上、ポストに投函願います。なお、ご不明な点などありましたら、下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

ウェブサイトで回答希望の方はこちらから



※ご記入いただきました個人情報は、適切に管理し上記目的以外には使用いたしません。

### 【お問い合わせ先】

大崎市民病院経営管理部経営企画課  
電話 0229-23-3311（代表）

### 病院広報誌「つながり・市民病院だより」アンケート調査

〈問1〉下記質問に対し当てはまる項目の□にチェックをご記入ください。

- ①性別 ☐男性 ☐女性  
②年代 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代  
☐70代 ☐80代以上  
③居住地域 ☐大崎市 ☐加美町 ☐色麻町 ☐美里町 ☐涌谷町  
☐栗原市 ☐登米市 ☐その他県内 ☐県外

〈問2〉以下の項目にお答えください。

| 項目        | 市民病院だより                                                                                   | 市民病院だより                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①見たことがあるか | <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない                                   | <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない                                   |
| ②文字の大きさ   | <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい | <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい |
| ③文章の量     | <input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい  | <input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい  |
| ④写真や図     | <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい | <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ちょうどよい <input type="checkbox"/> 小さい |

〈問3〉問2の項目①で「ない」と答えた方は、なぜですか。

| つながり                                    | 市民病院だより                                 |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 関心が無い          | <input type="checkbox"/> 関心が無い          |
| <input type="checkbox"/> 読みにくい          | <input type="checkbox"/> 読みにくい          |
| <input type="checkbox"/> どこに置いてあるかわからない | <input type="checkbox"/> どこに置いてあるかわからない |
| <input type="checkbox"/> つながりを知らない      | <input type="checkbox"/> 市民病院だよりを知らない   |

〈問4〉今後、掲載して欲しい記事やその他ご意見がありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。ご記入後はポストに投函願います。

# 臨床工学技士の 血管内治療への関わり

## 臨床工学技士の役割

臨床工学技士は、医療機器のスペシャリストとして医療機器の安全性確保と有効性の維持に貢献しています。現在の医療では多様な医療機器があるため、医療への関



わりも様々な形があります。脳梗塞に対する血管内治療も、そのうちの1つです。

血管内治療では医師・看護師・放射線技士と一緒にチームとして検査・治療を行います。その中で私たちの主な役割は患者さんへの

郵便はがき

989-6190

大崎市古川

穂波三丁目8番1号

大崎市民病院  
行

料金受取人払郵便

古川郵便局  
承認

110

差出有効期間  
令和2年6月  
25日まで  
(切手不要)

治療準備、使用物品の準備、治療の記録、機器操作等があります。血管の病気は、突然発症することが多く1秒でも早く治療することが救命や後遺症の有無に大きく関わっています。そのため、各々の役割にこだわらず連携を取り、助け合うことで素早い治療を目指しています。また、当院の臨床工学技士は当直体制を敷いており、24時間対応することができます。そのため、血管内治療だけでなく、緊急性の高い疾患へ素早い対応をすることが可能です。

血管内治療が終わると、血液中に多くの酸素を送り、傷ついた組織を治すために行う高気圧酸素療法を行うことで後遺症の軽減や早期回復を目指します。このように血管内治療だけでなく、その後の治療にも携わっています。医療が発達していく中で、医療機器は検査・治療に必要不可欠な要素となっています。そのため、私たち臨床工学技士の役割の重要性も増えています。今後も患者さんの健康を守るために貢献していきたいと思っています。

|      |         |      |     |       |
|------|---------|------|-----|-------|
| フリガナ |         |      |     |       |
| 氏名   |         |      |     |       |
| 性別   | 男・女     | 生年月日 | S・H | 年 月 日 |
| 電話番号 |         |      |     |       |
| 住所   | 〒□□□□□□ |      |     |       |



# ドクターヘリについて

テレビドラマなどでおなじみのドクターヘリは、宮城県でも平成28年から運航が開始されました。

ドクターヘリは、専門のトレー

ニングを受けたフライトドクター（医師）とフライトナース（看護師）が同乗し、医療機器などが装備された救急医療用のヘリコプターで、基地病院から時速200～250km

／時で飛行します。

宮城県の基地病院は仙台医療センターと東北大学病院が交替で担当しています。大崎地域には、離陸からおよそ10～20分で到着します。

ドクターヘリの目的は大きく2つあり、①現場に駆けつけたフライトドクターが早期に診療を始めること、②ドクターヘリによって、医療機関に早期に搬送する

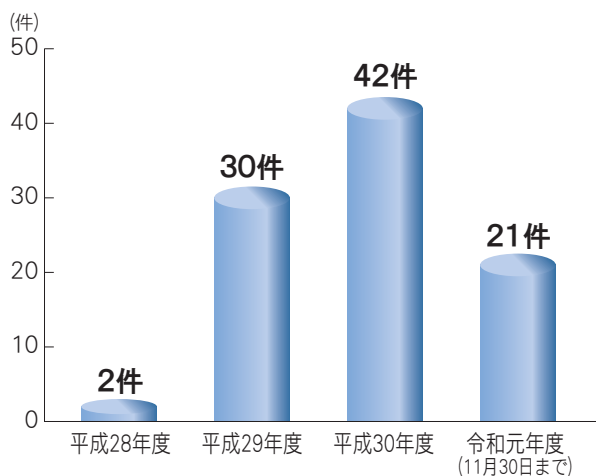
ことです。

119番通報を受けた消防署が基準に基づき要請するか、現場に駆けつけた救急隊の判断で要請されます。原則として、あらかじめ決められた公共施設の駐車場や学校のグラウンドなどを臨時の離着陸場として使用します。患者さんは、救急車で離着陸場まで搬送され、救急車内でフライトドクターの診療を受けます。その後、ドクターヘリに乗り、病院に搬送されます。搬送先の病院は、状態によって、基地病院や地域の救命救急センターなどになります。

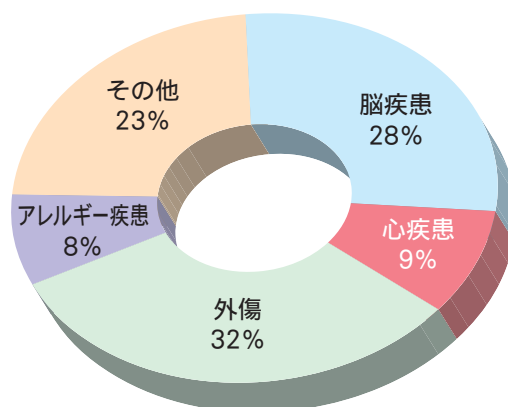
当院は令和元年11月30日まで、に救急現場からの患者さんを95人、転院の患者さんを8人受け入れていました。救急現場から受け入れた患者さんの数は、宮城県内で2番目の多さです。

ドクターヘリを利用することにより、患者さんの救命率向上や後遺症軽減などの効果を目指しています。

〈当院におけるドクターヘリ搬送件数〉



〈当院におけるドクターヘリ搬送の疾患別割合〉  
(平成28年10月28日～令和元年11月30日)



# 地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

## おのだクリニック

診療科目：

内科・呼吸器内科・消化器内科・  
アレルギー科・感染症内科

〒981-4321

加美郡加美町字下原38-3

TEL：0229-67-2228

診療時間：

【月～金】

午前9時～正午

午後2時～5時30分

【土】

午前9時～正午

休診日：土午後・日・祝祭日

|    | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 午後 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — |

●院長  
三浦  
洋  
先生



地域の  
みなさんへ

加美町小野田地区にあります診療所です。地域に医療機関は1件しかないので、専門は内科、呼吸器内科、アレルギー科、感染症内科ですが、ほぼ全科の1次診療を行っております。週2日消化器内科の家に内応援を頼み、内視鏡検査、超音波検査などもおこなっております。地域には寝たきりの高齢者も多く、定期的往診業務も行っております。患者さんが選択する医療機関が少ないため、スタッフ一同、病んで来院される患者さんの気持ちに寄り添い、誠心誠意に対応、診療するよう日々心がけております。また精査目的や入院のお願いなど大崎市民病院の諸先生方には大変お世話になっております。今後も病診連携を密にさせていただきますと思っております。



●院長  
角田  
雅宏  
先生



## つのだ眼科

診療科目：

眼科

〒987-0146

遠田郡涌谷町字中下道129-1-1

TEL：0229-44-1234

診療時間：

【月～金】

午前9時～午後0時30分

午後2時30分～5時

【土】

午前9時～正午

休診日：第1、3、5土・日・祝祭日

(火曜日：手術)

|    | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | — |
| 午後 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — |

地域の  
みなさんへ

涌谷町で開業して19年目となります。人生100年時代の到来と共に、視機能の維持の重要性が再認識され、眼科医療の対象年齢も対象疾患も広がってきています。診断機器、手術機械、薬剤等、眼科分野も驚くべき早さで進歩改良されてきました。開院以来、白内障、緑内障、網膜疾患を中心に、当院では特に検診を通じて乳幼児の弱視の早期発見に力を入れてきました。

当院で診断加療が困難な方は、常に大崎市民病院の眼科の先生方にご相談し、患者様に最善の医療を提供できるよう心がけています。県北の中核として高度で的確な眼科診療を継続している大崎市民病院と、今後も病診連携を密にして、遠田郡の地域医療に貢献していきたいと考えております。

# つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.19  
2019年12月発行  
一回発行は2020年2月の予定ですー

## 大崎市民病院

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号

TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>

大崎市民病院

検索

